

自治体間の広域連携を活用したシェアサイクルについて

自治体間の広域連携を活用したシェアサイクルについて、令和3年度の利用状況等の取りまとめ及び事業の検証を行ったので以下のとおり報告する。

1 令和4年7月末時点の状況

- (1) サイクルポート数
37か所(設置か所の詳細は別紙1のとおり)
- (2) 自転車配備台数
322台
- (3) 広域連携に関する協定により相互乗り入れが可能な自治体数
12区
- (4) 登録者数
約1.1万人

2 利用実績・利用者向けアンケート調査結果(令和4年3月末時点)

- (1) 利用実績分析結果 別紙2のとおり
- (2) アンケート調査結果 別紙3のとおり

3 事業の検証及び今後の改善点

(1) 事業の検証

本事業は、区内の公共交通の補完及び区民の移動利便性の向上などを目的としている。自転車配備台数及びサイクルポート数の計画的な増加や相互乗り入れ範囲の拡大により利用回数は大きく増加した。また、利用者向けアンケート調査における満足度や公共交通と組み合わせたの利用割合は前年度から微増傾向にあることから、現時点での事業の有効性を確認した。

一方で、アンケート調査では鉄道駅をはじめとした交通施設周辺や公共施設周辺へのサイクルポートの設置を要望する声が多い。利用目的は、通勤が約4割であるのに次いで買物・飲食が約3割を占め、利用するメリットや効果として、ほかの交通手段にはない楽しみや発見があること、立ち寄る店の増加を挙げる声も多い。また、令和3年度後半からの杉並区及び令和4年度からの練馬区の広域連携参加により、自治体間の相互乗り入れ範囲が拡大している。

これらの状況を踏まえた台数及びポート数の拡充を進め、事業の効果を更に検証していく。

(2) 今後の改善点

ア 事業拡大に向けた改善点

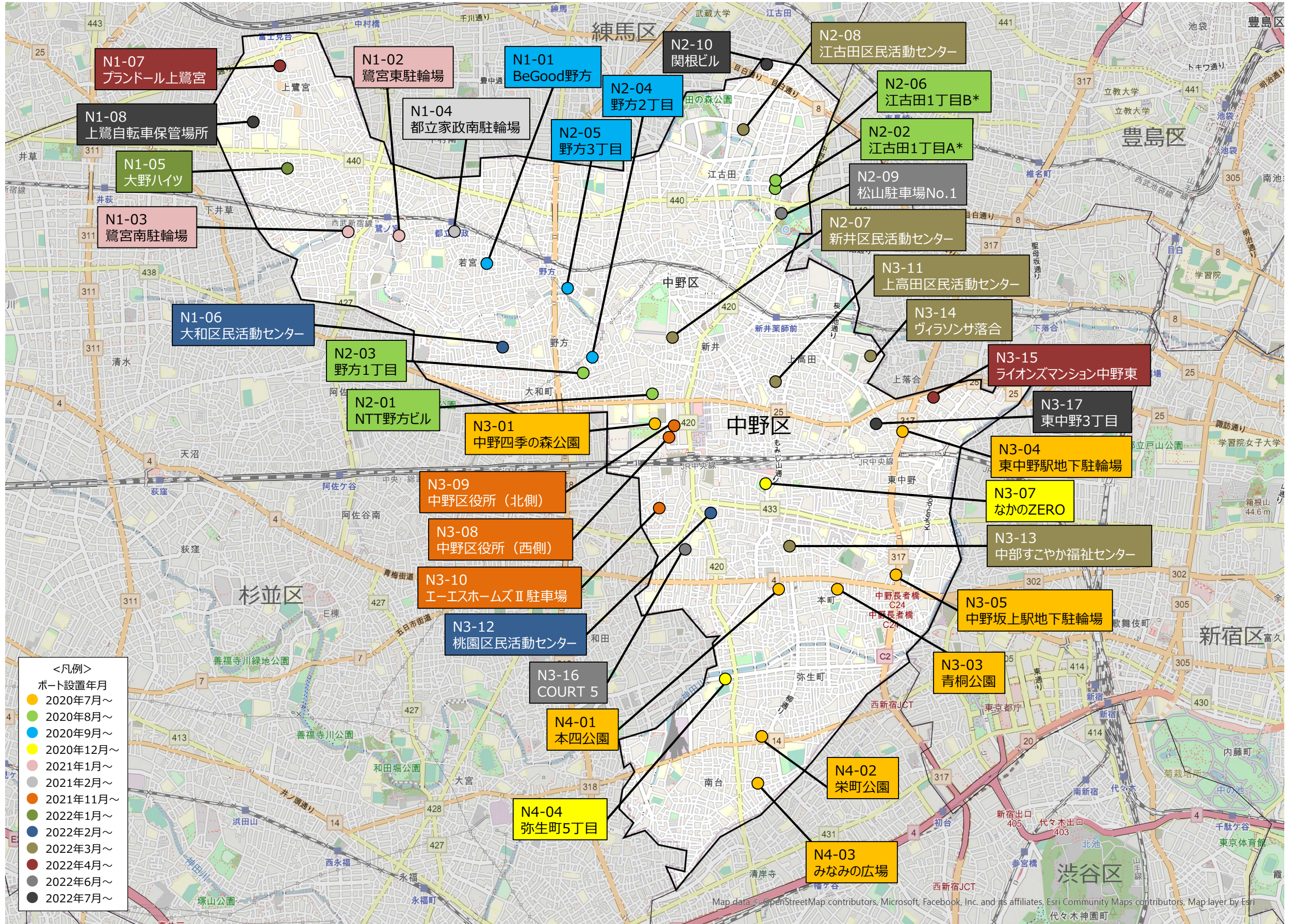
アンケート調査結果を踏まえ、需要が見込まれる地域を中心にサイクルポートを拡充していく。

イ 効率性の確保

自転車1台あたりの利用の効率性を向上させるため、杉並区及び練馬区等の広域連携参加を踏まえながら遠隔監視の管理システムにより利用者の動向分析を行い、各サイクルポートの自転車台数の偏りを解消する等の自転車の最適配置を強化していく。

4 今後の予定

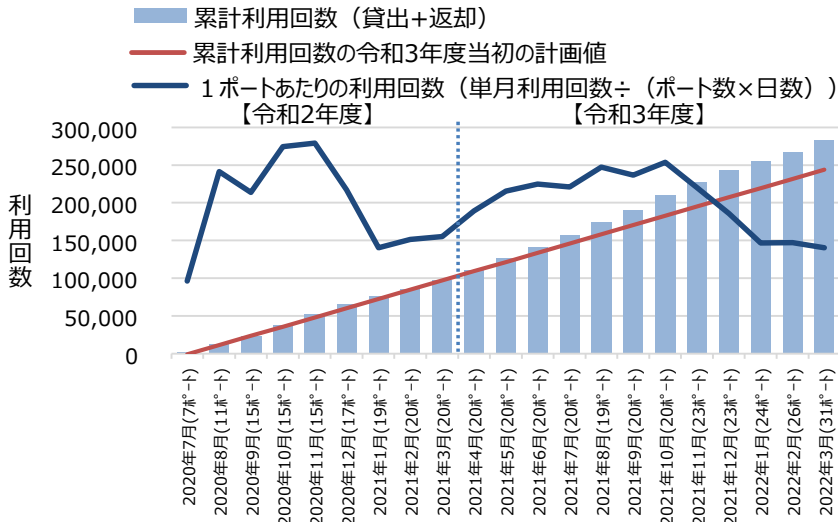
令和4年度内	サイクルポートを約40か所に増設
令和4年11月頃	アンケート調査の実施
令和4年度末	令和5年度以降の事業方針の決定



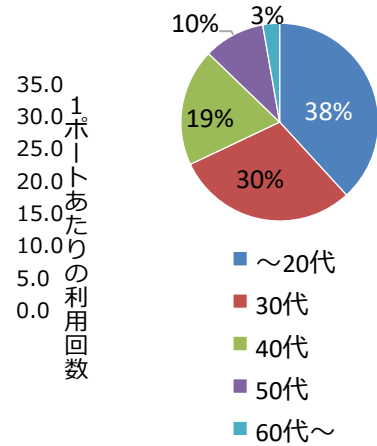
* 「N2-02.江古田1丁目A」および「N2-06.江古田1丁目B」は、「N2-02.江古田1丁目」の駐輪台数制限導入に併せてポート名を変更（2021年9月）

1 利用実績

■利用回数推移



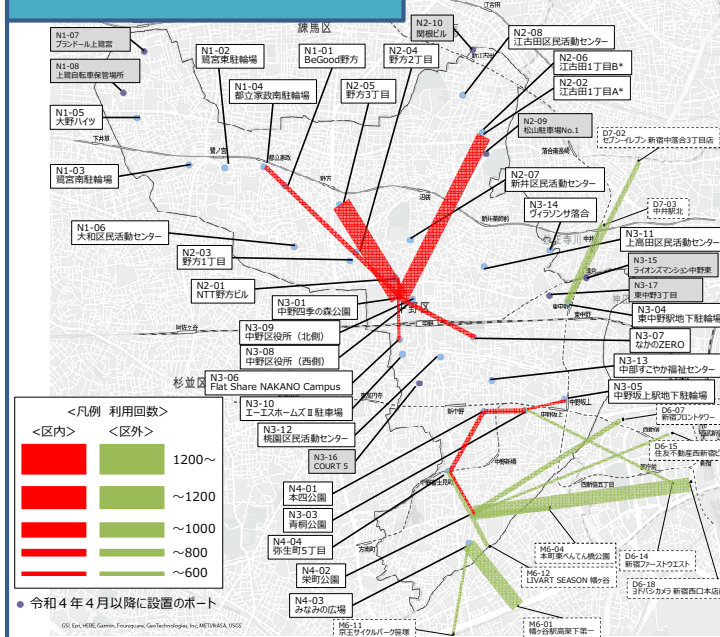
■年齢構成



【累計利用回数推移】

- ・ 月によって若干の変動はあるものの、概ね順調に増加している
- 【1ポートあたりの利用回数】
- ・ ポートが増加したほか、冬季は利用回数が減るため、年度後半は減少傾向
- 【年齢構成】
- ・ 30代以下の登録者が約7割を占めているが、幅広い年齢層が登録

3 移動傾向

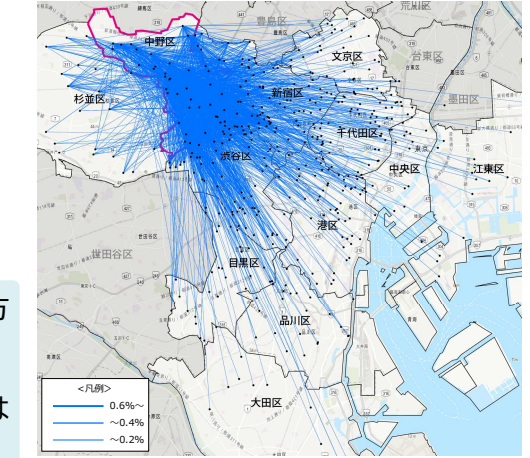


- ・ 中野四季の森公園を発着点とした移動が多く、中でも野方や江古田地域との移動が多い
- ・ 丸ノ内線の駅周辺間の移動も一定数みられる
- ・ 区外利用では幡ヶ谷駅周辺への移動が最も多く、ほかには新宿駅周辺との移動や東中野駅とその北側への移動が多い

異なるポート間の移動状況

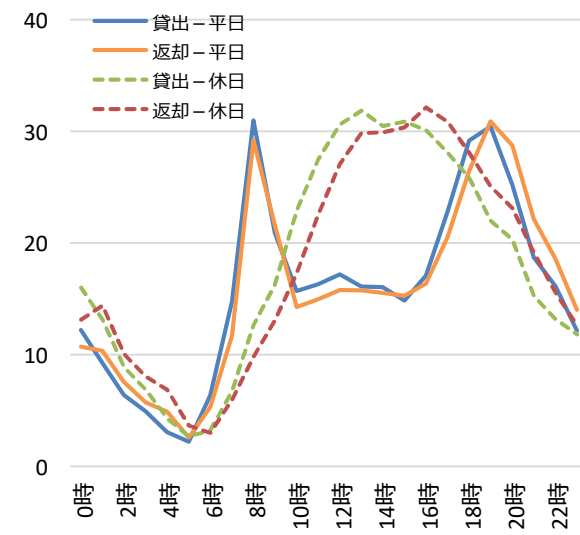
区内移動(同一ポート発着を除く) 上位10ペア			区外移動上位10ペア		
ポート番号	利用回数		ポート番号	利用回数	
N2-05 ⇄ N3-01	1,352		M6-01 ⇄ N4-03	1,048	
N2-02 ⇄ N3-01	1,150		D6-18 ⇄ N4-02	1,039	
N3-01 ⇄ N3-07	745		D7-02 ⇄ N3-04	786	
N3-03 ⇄ N4-01	734		M6-12 ⇄ N4-04	722	
N1-04 ⇄ N3-01	731		D7-03 ⇄ N3-04	690	
N4-01 ⇄ N4-04	726		M6-04 ⇄ N4-02	654	
N3-01 ⇄ N3-06	534		D6-07 ⇄ N4-02	617	
N4-02 ⇄ N4-04	526		D6-15 ⇄ N4-02	595	
N3-03 ⇄ N3-05	517		M6-11 ⇄ N4-03	536	
N2-01 ⇄ N3-01	515		D6-14 ⇄ N3-03	535	

全OD状況(令和4年3月)

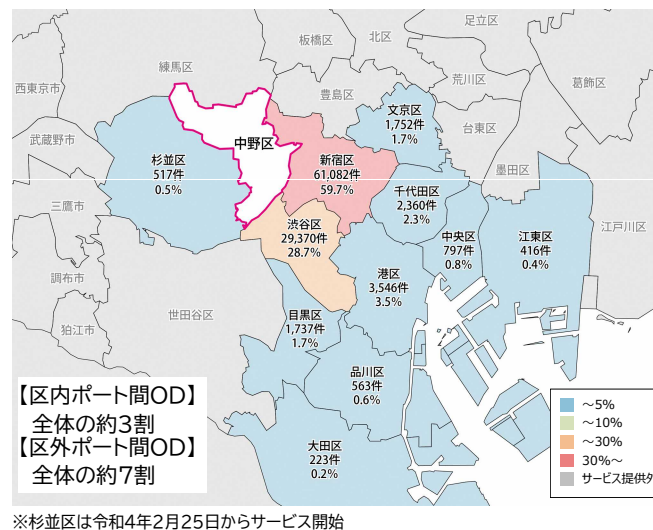


2 時間帯別、区外利用

■時間帯別利用回数(1日平均)



■区外ポート間OD



【時間帯別利用回数(1日平均)】

- ・ 平日は通勤時間帯の利用が多く、朝と夜に利用のピークが2回ある
- ・ 休日は朝から徐々に利用が増加し、12時～16時頃までの利用が多い
- 【区外ポート間OD】
- ・ 他区との相互利用による傾向は、隣接区である新宿区が約6割、渋谷区が約3割となっている

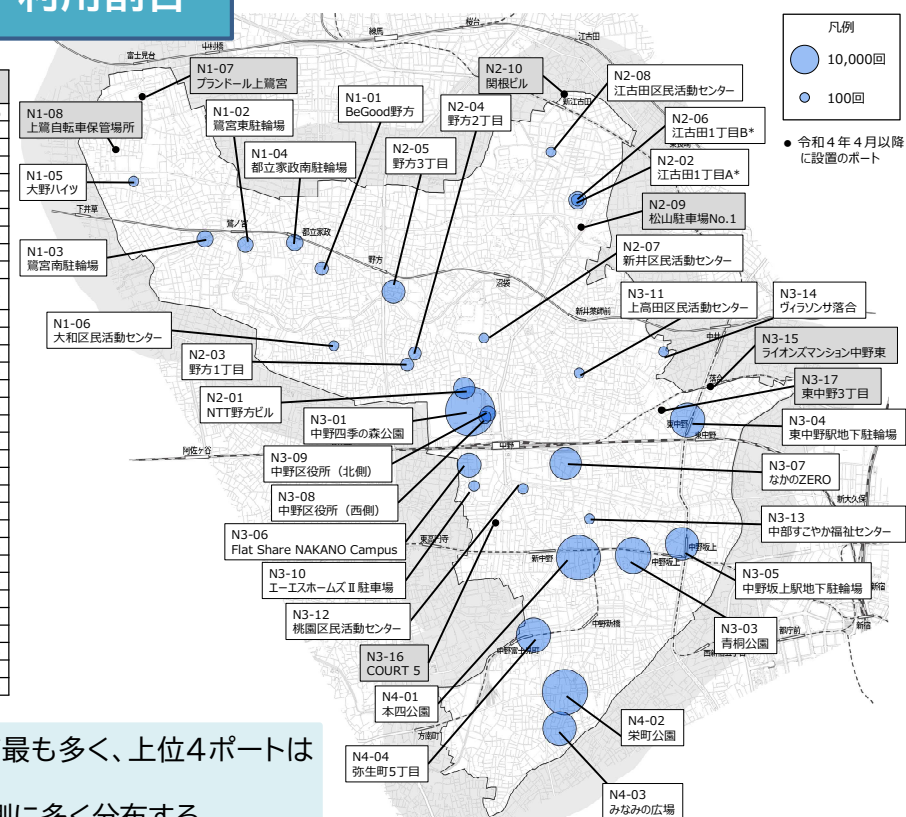
4 中野区内ポート利用割合

利用回数ランキング 中野区全ポート

ポート番号	ポート名	利用回数	%
区内ポート全体		186,577	100%
N3-01	中野四季の森公園	20,738	11.1%
N4-02	栄四公園	18,670	10.0%
N4-01	本四公園	18,115	9.7%
N3-03	青桐公園	13,603	7.3%
N3-04	東中野駅前下駐輪場	12,961	6.9%
N4-04	弥生町5丁目	12,927	6.9%
N4-03	みなみの広場	12,471	6.7%
N3-05	中野坂上駅前下駐輪場	12,344	6.6%
N3-07	なかのZERO	11,492	6.2%
N3-06	Flat Share NAKANO Campus	7,518	4.0%
N2-05	野方3丁目	7,087	3.8%
N2-01	NTT野方ビル	6,221	3.3%
N3-02	すみれ公園※	4,522	2.4%
N2-02	江古田1丁目B	4,259	2.3%
N1-04	都立家政南駐輪場	3,650	2.0%
N1-03	鷺宮南駐輪場	3,458	1.9%
N1-02	鷺宮東駐輪場	3,106	1.7%
N3-09	中野区役所(北側)	3,059	1.6%
N1-01	BeGood野方	2,092	1.1%
N2-03	野方1丁目	1,953	1.0%
N2-04	野方2丁目	1,518	0.8%
N2-06	江古田1丁目B	1,365	0.7%
N3-08	中野区役所(西側)	1,284	0.7%
N3-10	エースホームⅡ駐輪場	695	0.4%
N3-12	桃園区民活動センター	430	0.2%
N1-05	大野ハイツ	205	0.1%
N2-08	江古田区民活動センター	203	0.1%
N3-11	上高田区民活動センター	169	0.1%
N1-06	大和区民活動センター	158	0.1%
N3-13	中部すこやか福祉センター	133	0.1%
N2-07	新井区民活動センター	107	0.1%
N3-14	ワイランサ落合	64	0.0%

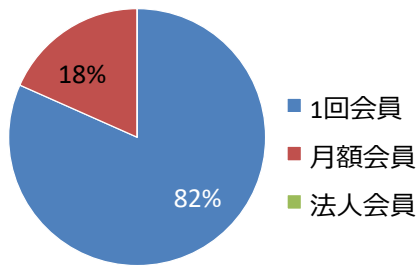
※N3-02すみれ公園は令和3年8月25日の廃止までの実績

- ・ 中野四季の森公園の利用が最も多く、上位4ポートは公園となっている
- ・ 利用が多いポートは区の南側に多く分布する



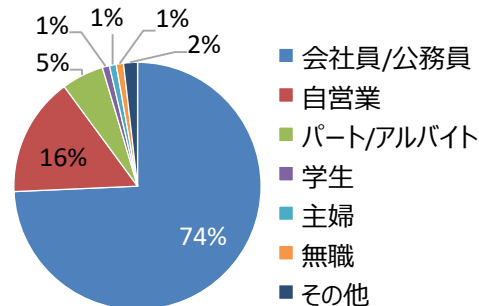
1 回答者属性

■会員種別



n=109

■職業

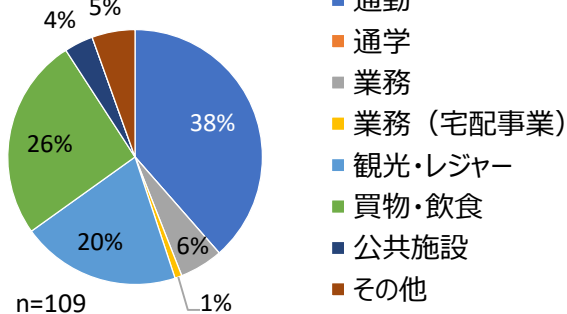


n=109

【会員種別】
・1回会員が約8割、月額会員が約2割
【職業】
・会社員/公務員が約8割

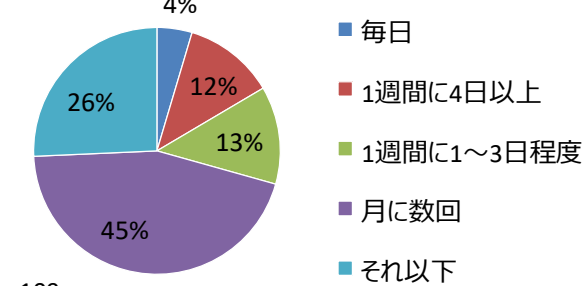
2 利用目的・頻度

■利用目的



n=109

■利用頻度

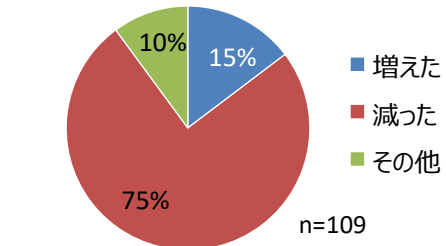


n=109

【利用目的】
・通勤が約4割、買物・飲食が約3割、観光・レジャーが約2割、通学の利用は無し
【利用頻度】
・毎日及び1週間に4日以上が約2割、それ以下の頻度が約8割

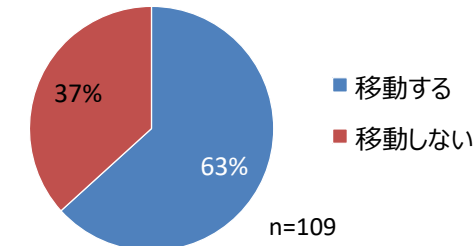
3 利用傾向(交通手段)

■他の公共交通の利用機会

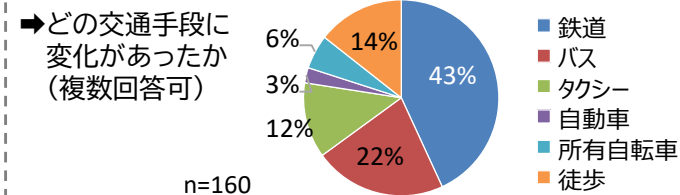


n=109

■シェアサイクルと公共交通の組み合わせ



n=109

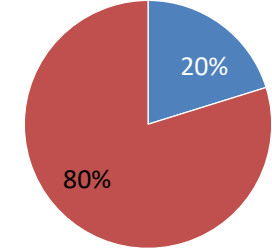


n=160

【他の公共交通利用機会】
・利用機会が減った人が約8割で、特に鉄道の利用機会に変化がでている
【シェアサイクルと公共交通の組み合わせ】
・公共交通と組み合わせて利用している人が約6割(令和2年度:59%)

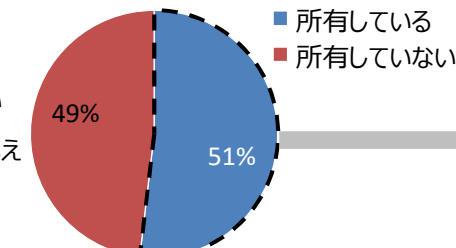
4 利用動機

■コロナが利用起因



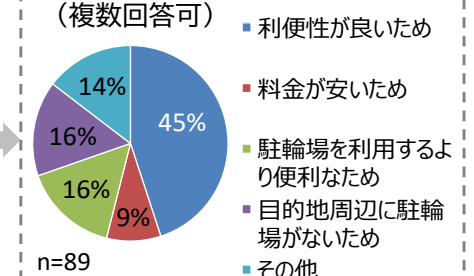
n=109

■自家用自転車の所持



n=109

■シェアサイクルを利用する理由(複数回答可)

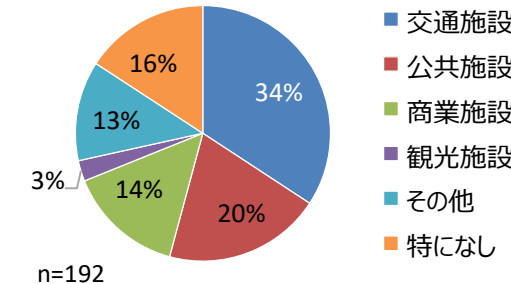


n=89

【コロナが利用起因】
・新型コロナ影響による利用は約2割であり、約8割は新型コロナに関係なく利用
【自家用自転車の所持】
・自分専用の自転車を所有している人は約5割で、利便性が良いことを理由に挙げる人が最も多い

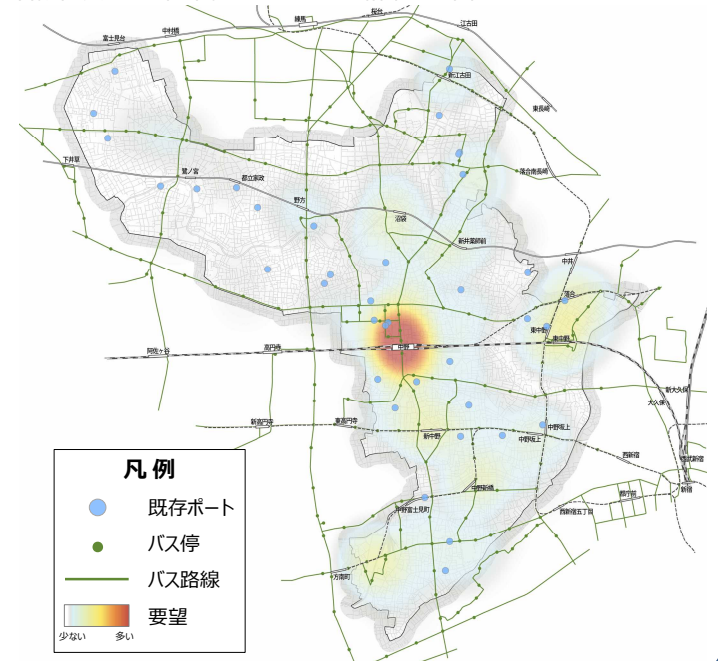
5 ポート設置需要

■サイクルポート設置要望(複数回答可)



n=192

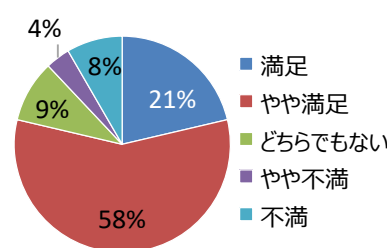
※各設置要望が所に関するアンケート結果を地図上におとしたデータ



【設置要望】
・交通施設周辺の設置要望が全体の約3割、公共施設が約2割となっている。
・地図上でみると、鉄道駅周辺の設置要望が多く、特に中野駅周辺が多い

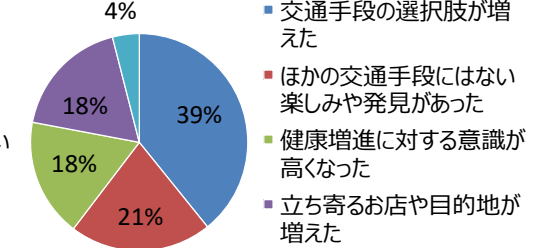
6 利用者の評価

■満足度



n=109

■利用するメリットや効果(複数回答可)



n=227

【満足度】
・満足している人が約8割(令和2年度:77%)
【メリット・効果】
・交通手段の選択肢が増えたことを挙げる人が最も多く、全体の約4割
・楽しみや健康増進、立ち寄る店の増加の回答もそれぞれ約2割で、副次的な効果もみられる